

第 1 号議案

令和 5 年度 事業報告

1. 法人をめぐる状況と事業概要

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和 5 年 5 月 8 日から「5 類感染症」になったがその後も職員を含め取り巻く環境での感染は続いている。

当施設としては、いわゆる 2 類相当時と同様の感染予防対策を継続している。現時点においても、当該感染症にはインフルエンザ蔓延防止策としての予防投与が可能な経口薬等もない状況では、これまでどおりの感染予防対策を継続して行く予定である。

次に、恒久的な職員不足は止まることなく、これまでの実質運営における職員不足から、介護保険制度上の人員配置基準を確保することも厳しくなって来ている。したがって当該制度を遵守するために当法人が運営する各介護保険事業所の利用定員数を下回る利用受入制限を余儀なくされている。

2. 業務の達成状況

上記 1 の状況等により、令和 5 年度の利用率（前年）は、従来型特養 91.2 (95.5) %、ショートステイ 67.7 (69.9) %、デイサービス 88.0 (88.0) %、グループホーム 98.0 (97.7) %、ユニット型特養 89.7 (92.5) %である。

支出（経費）においては、予想外の天災（落雷・雨等）による機械設備損傷の修理をはじめに、老朽化した各種機械設備等の故障等が相次ぎ、支出を抑制することが困難であった。また、前年度に引き続く物価高騰で特に影響をうけたのは、電気・ガスの光熱費及び食材費で経費増となった。